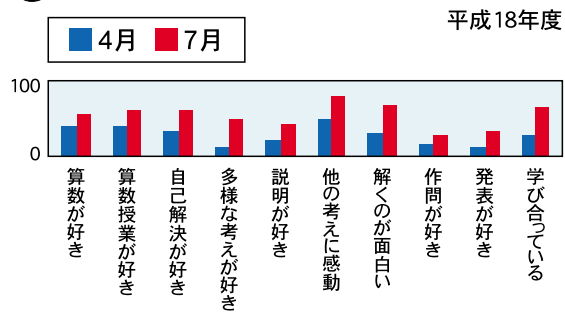
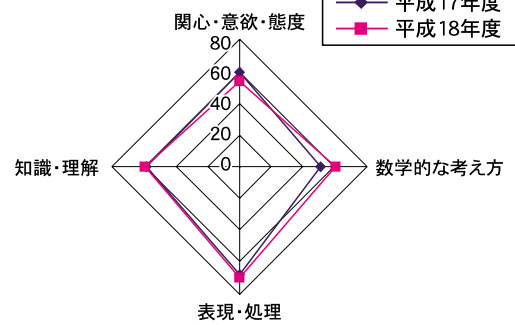


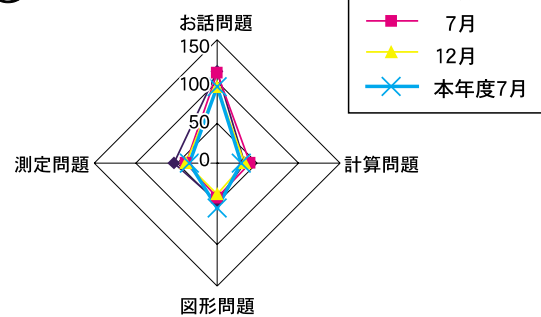
### ① 5年 算数に関するアンケート結果



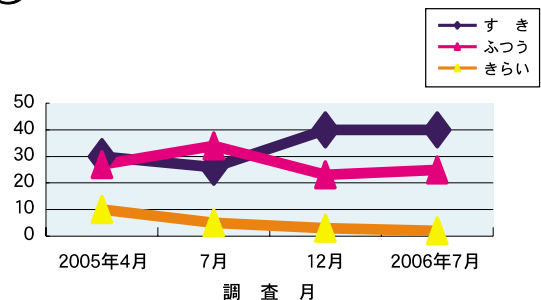
### ② 6年 基礎学力調査



### ③ 4年～6年 苦手な問題



### ④ 6年 算数の勉強をどう思うか



### 「考える力」は？

高学年での「考える力」を育てる重点単元の取り組みにより、取り組み以前とどう変容があるか、アンケートで確かめてみたところ、グラフ①が示すように算数科への好感度・問題解決型学習・学び合い・作問等に意欲向上が見られました。

基礎学力調査で前年度と今年度の結果を比較したところ、グラフ②のように4観点中、数学的な考え方の伸びが顕著でした。

苦手な問題の意識調査では、グラフ③のように、文章問題を苦手とする児童が減少しました。

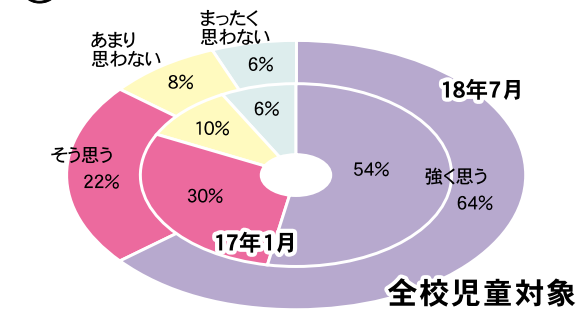
### 瞳を輝かせ、進んで学ぶ子に育ったか

児童対象の意識調査の結果によると、全校的に算数科を敬遠する児童が減少し、逆に算数科を好む児童が増加してきました。グラフ④は、その傾向が最も顕著だった6年のグラフです。

少人数指導についてのアンケートでも、グラフ⑤のように、1年めの前年度よりさらに肯定的な回答が増加しました。

以上の結果から、「考える力」と主体的な学びの姿の育ちが、意識の面でも学力の面でも数値として確認できます。

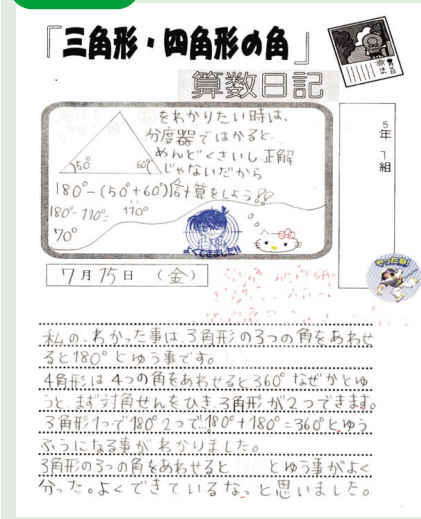
### ⑤ コース別やTTの授業は分かりやすい



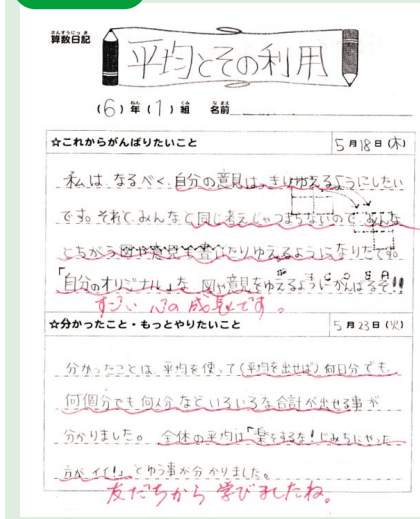
数値では表せない「考える力」の変容については、算数日記の記述内容を継続的に追ってきました。全体的に、徐々に考え方への目覚めや気づき・自信が表現されるようになってきました。

下の算数日記はMさんの算数日記です。

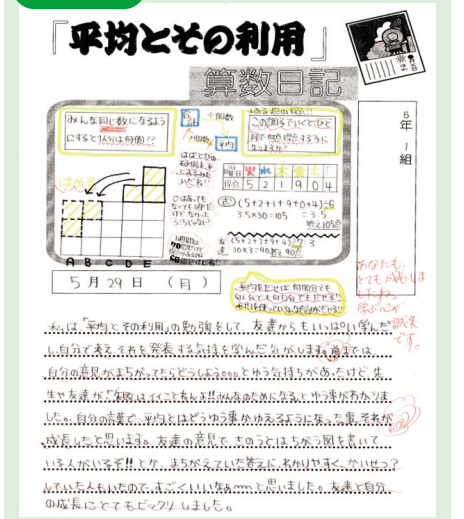
#### 1年前



#### 今年度



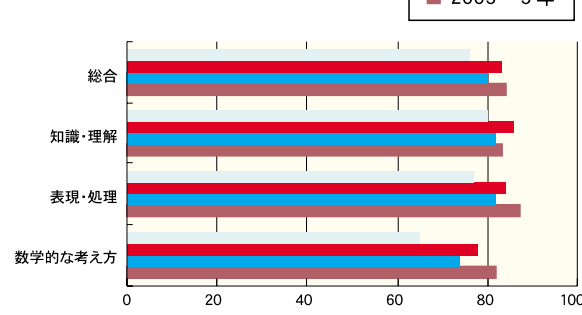
#### 今年度



「わかること・簡単か難しいか」という視点で学習をまとめてきたMさんが「自分で考え、発表すること」に目覚め、自身の成長に驚いています。数字では表せないこの変容をMさんだけでなく、多くの児童から感じることができます。

### 確かな学力の定着と向上は得られたか

### ⑥ 観点別学力到達度診断 (標研式)



先述したように、文章問題を苦手とする児童が減り、また基礎学力調査結果で数学的な考え方を問う問題の通過率がこの1年で10%前後アップしました。さらに観点別学力到達度診断(標研式)では前年度に比べ数値は低くなっているものの全国との比較では3観点で伸びが確認できました。⑥は現6年生の2年間のグラフです。